

「公共工事におけるマネジメント業務の具体的な業務範囲や
責任と権限等に対する適切な業務評価とフィーのあり方について」
に関する研究

マネジメント業務評価研究小委員会 委員長 山本 幸司
委員 諏訪 博己

1. テーマの目的

多様な発注方式が試行されている中で、公共工事におけるマネジメント業務の具体的な業務範囲や責任と権限等に対する、適切な評価とフィーのあり方について研究する。

2. 発表内容

現在までに実施されているマネジメント技術活用方式の物件を洗い出し、実施者の資格要件、業務形態、マネジメント業務範囲及び責任と権限、実施体制、業務実績の評価方法及び費用等について、資料収集や当事者に対するヒヤリング等を行い、調査・分析を進めてきた。また、今後のCMRのマネジメント内容やフィーのあるべき水準を検討するためには、元請業者の実態的なマネジメント内容を把握することがベースとなるため、従来方式における工事数件を対象にして、業務の内容、業務量について調査を開始した。同時に、発注者側のマネジメント業務についても把握する必要があるため、市町村等地方自治体に対する調査・分析を開始した。

今回は、中間報告として、すでに実施されているマネジメント技術活用方式の調査・分析結果、及び元請業者の業務の内容、業務量、発注者側の業務調査内容について、現時点での状況を報告する。

そして、その結果をもとに、コスト構造がどうあるべきか、評価基準やフィーのあり方についての検討等、今後の方向性について報告する。